

2025 年 度

香川大学大学院地域マネジメント研究科（専門職学位課程）
「地域マネジメント専攻」

学 生 募 集 要 項

（一 般 選 抜）
（社 会 人 選 抜）

2024年 4 月

(2024年7月16日更新)

香川大学大学院地域マネジメント研究科

〒760-8523 香川県高松市幸町2番1号
TEL (087) 832-1826

目 次

| | |
|--|----|
| I. 2025年度香川大学大学院地域マネジメント研究科（専門職学位課程）学生募集要項 | |
| 1. 地域マネジメント研究科の教育理念・方針について | 1 |
| 2. 募集人員 | 3 |
| 3. 出願資格 | 3 |
| 4. 出願手続 | 4 |
| 5. 選抜方法等 | 6 |
| 6. 試験の日時等 | 6 |
| 7. 合格者発表 | 6 |
| 8. 入学手続 | 7 |
| 9. 注意事項 | 7 |
| II. 授業時間の特例措置について | 9 |
| III. 長期履修学生制度について | 10 |
| IV. 修学助成一覧 | 11 |
| V. 履歴の記入にあたっての注意事項 | 12 |

添付書類

- ・ 入学願書
- ・ 受験票
- ・ 写真票
- ・ 履歴書
- ・ 志望理由書（一般選抜）
- ・ 志望理由書（社会人選抜）
- ・ 派遣書
- ・ 出願資格審査申請書

香川大学試験場案内図

入学試験等に関する照会先

2025 年度

I. 香川大学大学院地域マネジメント研究科（専門職学位課程）

学生募集要項

1. 地域マネジメント研究科の教育理念・方針について

(1) 地域マネジメント研究科の教育理念

わが国全体の活力を上げるために、各地域がグローバルな視野を持ちながら、地域の資源を活用して発展していくことが求められています。また、地方分権の一層の進展が期待される中、官民が連携し地域を支え、地域が自立していくことが求められてきています。このような社会的要請を踏まえ、本研究科は、地域活性化に貢献する教育研究を通して、高い倫理観とグローバルな視野のもと、マネジメントや地域政策に関する能力を養うことで、高い志を持って地域を支え、かつマネジメントすることのできるリーダーを養成することを教育理念とします。

具体的には、以下のような人材を育成することを目指します。

- ①企業の創造的変革を先導し、グローバルな視野を持ちながら地域に貢献する「ビジネス・リーダー」
- ②行政部門に新たな戦略と行動力をもたらす「パブリック・プロフェッショナル」
- ③地域の人々を巻き込み、地域の個性を生かした地域振興を図る「地域プロデューサー」

(2) アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）について

本研究科は、上記の教育理念の①～③に示すような地域のリーダーを目指す人を求めます。そのことを踏まえ、入学者には以下の表に示すような学力・能力・資質等を求めます。

| | |
|----------------|---|
| 1) 知識・技能・理解力 | 4年制大学卒業相当の者が身につけているべき一般的な能力（特定の分野の知識や技能は求めない） |
| 2) 思考力・判断力・表現力 | 地域活性化に関する諸課題を論理的に考え、他者に説明できる表現力・コミュニケーション能力 |
| 3) 応用力 | 地域活性化に関する諸課題から、自身が関心を寄せるものに焦点を当て、課題が生じる原因やそれを解決する社会的意義等を整理する力 |
| 4) 探求心・意欲・態度 | 地域活性化に関する諸課題に主体的に取り組み、多様な人々と協働して学び、地域に貢献しようとする高い志・意欲・態度 |
| 5) 倫理観・社会的責任 | 地域活性化に貢献することを志す者が持つべき倫理観とその社会的責任を理解できる能力 |
| 6) グローバルマインド | 地域活性化に関する諸課題を、単に当該地域や国内で閉じた問題として捉えず、国際社会の中での問題として捉えようとする志向性 |

そこで選抜試験においては以下の方針で行います。一般選抜は、社会人経験の乏しい4年制大学卒業相当の学位を有する者について、「ビジネス・リーダー」「パブリック・プロフェッショナル」「地域プロデューサー」を目指す上で必要な学力・能力・資質等を見ることを目的としています。社会人選抜は、十分な社会人経験及び4年制大学卒業相当の学位を有する者について、「ビジネス・リーダー」「パブリック・プロフェッショナル」「地域プロデューサー」を目指す上で必要な能力・資質等を見ることを目的としています。小論文（一般選抜のみ）では、4年制大学卒業相当の者が身につけているべき一般的な能力、理解力、思考力（着眼点及び論理性）、表現力を評価します。面接では、提出書類を参考にしながら、思考力（着眼点及び論理性）、理解力、応用力、コミュニケーション能力、地域活性化に貢献することを志す意欲や倫理観、グローバルマインド、及び社会的実績（社会人選抜のみ）を評価します。

(3) ディプロマ・ポリシー（修了の認定に関する方針）について

本研究科では、その教育理念に基づき、地域活性化に貢献する上で必要な基礎及び専門知識を理論と実践のバランスを図りながら体系的に修得し、地域活性化に貢献できるプロジェクトや調査を企画・実行・発表する「総合力」を身につけ、高い倫理観と社会的責任のもと、国内外におけるマネジメントや地域政策の現場で活躍できる幅広い能力を備えた人材を育成します。具体的には、上記の教育理念に示した人材①～③を養成することを目指します。なお、本研究科を修了し、本学が送り出す経営修士（専門職）が身につけるべき能力・態度の到達基準は次の表の（A）列に示すとおりです。

| | （A）身につけるべき能力・態度の到達基準 | | （B）科目との対応関係 |
|--------------|--|--|---|
| 1) 専門知識・理解 | 定性的・定量的・数理的的分析能力 | 社会一般の問題を定性的・定量的・数理的に分析し解決することができる。 | 「分析基礎科目」により修得することができる。 |
| | 基礎力 | マネジメントで必要とされる基礎的知識及びその獲得能力を有している。 | 「基礎科目」により修得することができる。 |
| | 地域問題発見能力 | 地域を客観的に把握し当該地域が抱える具体的問題を見つけ出す能力を有している。 | 「地域基礎科目」により修得することができる。 |
| 2) 研究能力・応用力 | 応用力 | 地域活性化に貢献する上で必要な専門知識を理論と実践のバランスを図りながら体系的に修得し、その知識を個別分野及び個別地域における様々な課題に投影する際に必要となる応用的能力を備えている。 | 「応用科目」により修得することができる。 |
| | 実践的課題解決能力（総合力） | 地域活性化に貢献できるプロジェクトや調査を自ら企画・実行・発表するための実践的な課題解決能力（総合力）を備えている。 | 「プロジェクト科目」により修得することができる。 |
| 3) 倫理観・社会的責任 | 地域活性化に貢献する専門的人材として、高い倫理観と地域の企業や行政が果たすべき社会的責任に関する自覚と理解を備えた上で、課題解決に必要な戦略や政策を立案・実行することができる。 | | 本研究科の授業科目には、いずれも社会的要請に基づき、企業・行政が持つべき倫理観と社会的責任に関する内容が基本前提として取り入れられている。 |
| 4) グローバルマインド | 地域資源を活用し発展させ、地域全体の活力を向上させるため、グローバルな視野に基づいた政策及び戦略を立案し提案できる能力を備えている。 | | 主に「応用科目」を通じて身につけることができる。 |

(4) カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）について

本研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に示した人材を育成するために、分析基礎科目（4単位以上）、基礎科目（「研究倫理（1単位必修）」を含む、10単位以上）、地域基礎科目（4単位以上）、応用科目（自由選択）、プロジェクト科目（8単位）から構成される教育課程を編成・実施します。修了要件は上記科目40単位以上の修得及びプロジェクト研究の審査に合格することです。なお、大学院教養教育科目に相当する科目が基礎科目及び地域基礎科目に設定されています。本研究科では、地域活性化に貢献できる人材を養成するため、理論と実践のバランスを図りながら、多様な個別のニーズに柔軟に対応できる体系的なカリキュラムを構築しています。なお、入学時から修了時まで、学生一人ひとりの研究・教育上の相談相手となる教員（1年次：アカデミック・アドバイザー、2年次：プロジェクト科目担当教員）を複数割り当て、支援を行うことで、学生の多様な問題意識や目的に対応した履修計画を適切にカスタマイズできる体制を構築しています。ディプロマ・ポリシーで示した到達基準と、本研究科が提供する科目との対応関係は、上記の表の（B）列に示すとおりです。

学習成果の評価は、シラバスに記載している方法によって、各授業科目の到達目標の達成度で厳格な成績評価（5段階評価、GPA制度）を行います。

(5) 取得できる学位

経営修士（専門職）

MBA（Master of Business Administration）

2. 募集人員

30人（夏期・秋期・冬期合計）

3. 出願資格

1. 一般選抜試験を出願できる者

次の各号のいずれかに該当する者です。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者及び2025年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年3月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者及び2025年3月までに指定した者に該当する見込みの者（【注1】を参照してください。）
- (9) 飛び入学により他の大学の大学院に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本大学院において大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者（「9. 注意事項」の1を参照してください。）
- (10) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したものと及び2025年3月31日までに22歳に達するもの（【注2】及び「9. 注意事項」の1を参照してください。）

【注1】出願資格(8)に該当する者は、教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳に達するもの等です。

【注2】出願資格(10)に該当する者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校及びその他の教育施設の卒業者等（特に顕著な社会的経験を有する高等学校の卒業者を含む。）であり、本大学院が、事前に個別の出願資格審査を行います。

2. 社会人選抜試験を出願できる者

- ① **4年制大学卒業**後、企業、官公庁、教育・研究機関、NPO法人等（以下「法人」という。）において2年以上の勤務経験を有する者及び2025年3月までに2年以上の勤務経験を満たす者（なお、法人からの派遣により出願する場合は、1年以上の勤務経験で可とする。）
- ② 本大学院において個別の出願資格審査により、第①項と同等以上の学力及び社会的経験を有すると認められた者

4年制大学卒業とは、次の各号のいずれかに該当する者です。

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（【注1】を参照してください。）
- (9) 本大学院において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳以上のもの（【注2】及び「9. 注意事項」の1を参照してください。）

【注1】出願資格(8)に該当する者は、教育職員免許法による小学校、中学校、高等学校若しくは幼稚園の教諭若しくは養護教諭の専修免許状又は一種免許状を有する者で22歳以上の者等です。

【注2】出願資格(9)に該当する者は、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校及びその他の教育施設の卒業生等（特に顕著な社会的経験を有する高等学校の卒業生を含む。）であり、本大学院が、事前に個別の出願資格審査を行います。

4. 出 願 手 続

(1) 出 願 期 間

夏期（一般・社会人）：2024年6月12日(水)から6月28日(金)まで

秋期（一般・社会人）：2024年9月11日(水)から9月27日(金)まで

冬期（一般・社会人）：2025年1月6日(月)から1月22日(水)まで

持参する場合、受付時間は、9時から17時までです。ただし、土曜日、日曜日及び休日を除きます。

郵送の場合は、「簡易書留・速達郵便」とし、封筒に「大学院地域マネジメント研究科入学願書在中」と朱書してください。各期ともそれぞれの最終日の17時までに必着（郵送期間を十分考慮してください）とします。ただし、それぞれの最終日の17時を過ぎて着いた場合は、夏期は6月26日(水)、秋期は9月25日(水)、冬期は1月20日(月)までの消印のあるものであり、かつ「簡易書留・速達郵便」であるもの限り受理します。

(2) 願 書 提 出 先

〒760-8523 高松市幸町2番1号 香川大学統合事務センター教務課（地域マネジメント研究科担当）

(3) 提出書類

入学志願者は、次の出願書類等を提出してください。

| 出願書類等 | 提出者 | 摘要 |
|------------------------|-----|--|
| ①入学願書 | 全員 | 本学所定の用紙に必要事項を記入してください。 |
| ②履歴書 | 全員 | 「V. 履歴の記入にあたっての注意事項」(12頁)を参照の上、本学所定の用紙に必要事項を記入してください。なお、一般選抜試験の出願資格(9)(10)、社会人選抜試験の出願資格(9)により出願する者は、出願時に「履歴書」の提出は不要です。 |
| ③卒業(修了)証明書 | 全員 | 在学中の者は、卒業(修了)見込み証明書を提出してください。ただし、一般選抜試験の出願資格(2)(9)(10)、社会人選抜試験の出願資格(2)(9)に該当する者は除きます。 |
| ④成績証明書 | 全員 | 出身大学の大学(学部)長が作成し、 厳封 してください。なお、一般選抜試験の出願資格(9)(10)、社会人選抜試験の出願資格(9)により出願する者は、出願時に「成績証明書」の提出は不要です。 |
| ⑤志望理由書 | 一般 | 本学所定の用紙を用いて 志願者本人が直筆で記入 してください。 1. 志望動機(500字以内) 本研究科を志望するに至った動機について述べてください。 2. 将来の計画(500字以内) 本研究科の修学を活かして、本研究科修了後の進路をどのように考えているかを述べてください。 |
| | 社会人 | 社会人は以下の3項目について、本学所定の用紙を用いて、指定の字数以内で志願者本人が作成してください。なお、日本語ワードプロセッサを用いる場合は本学所定の用紙に準じてA4判上質白紙により作成してください。 1. 社会的経験(1,000字以内) これまでの職務の経験や社会的活動の中で、重要だと思う事項(研究に関係する特技、資格、表彰などを含む。)や出来事などを述べてください。 2. 志望動機(1,000字以内) 社会的経験の中で認識するようになった問題意識並びに本研究科を志望するようになった動機を述べてください。 3. 将来の計画(1,000字以内) 本研究科で研究したいテーマ及び本研究科での研究・修学を活かした将来計画について述べてください。 |
| ⑥検定料 | 全員 | 30,000円 入学願書と一連の「振込依頼書(入金票)」及び「領収書」に必要事項を記入の上、夏期は2024年6月5日(水)～6月28日(金)、秋期は2024年9月4日(水)～9月27日(金)、冬期は2024年12月24日(火)～2025年1月22日(水)の間に金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く。)の窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際必ず入学願書下部の「 受付金融機関出納印 」欄に押印を受けてください。 (注)通常、金融機関の窓口取扱時間は、平日の15時までです。また、土日・祝日は休業となりますので注意してください。 |
| ⑦受験票・写真票 | 全員 | 写真票には、出願前6か月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真(4cm×3cm)を貼付してください。 |
| ⑧受験票等送付用封筒 | 全員 | 本学所定の封筒に、自己の住所、氏名及び郵便番号を明記し、 410円分 の郵便切手を貼付してください。 |
| ⑨学位授与証明書 | 該当者 | 出願資格(2)に該当する者については、大学改革支援・学位授与機構が作成したもの又は学位記の写しを提出してください。 |
| ⑩学士の学位の授与の申請を受理した旨の証明書 | 該当者 | 出願資格(2)に該当する者で学士の学位を授与される見込みの者については、大学改革支援・学位授与機構が作成したもの又は在籍する短期大学長若しくは高等専門学校長が作成した学士の学位の授与を申請した旨の証明書を提出してください。 |
| ⑪派遣書 | 該当者 | 勤務先から派遣される者について、本学所定の用紙により、当該所属長が作成したものを提出してください。 |
| ⑫在留資格を証明するもの | 外国人 | 外国人の志願者については、旅券のコピー等を提出してください。ただし、現在、日本に在住している場合は、住民票又は在留カード(両面)の写しを提出してください。 |
| ⑬成績に関する証明書の写し | 外国人 | 外国人の志願者で、日本留学試験(日本語)又は日本語能力試験を受験している人は成績に関する証明書の写しを提出してください。 |

※次頁の注意事項もよく読んでください。

注) 旧姓(名)で作成された証明書等を使用する場合は、戸籍抄本を、通名で作成された証明書等を使用する場合は、通名登録のうえ、住民票の写しを併せて提出してください。

注) 出願書類は、原則として日本語で作成してください。証明書等で日本語又は英語以外で書かれている書類には、日本語訳又は英語訳を添付してください。

5. 選抜方法等

一般選抜は小論文、面接及び志望理由書等の提出書類を、社会人選抜は面接及び志望理由書等の提出書類を総合して選抜します。ただし、一般選抜においては、小論文試験、面接のいずれかの評価によって不合格とすることがあります。なお、社会人選抜において、「3. 出願資格 2. 社会人選抜試験を出願できる者」の(9)により出願資格を認められた者については、小論文試験を課すことがあります。また、外国人留学生については、日本語能力を小論文、面接及び志望理由書等の提出書類によって総合的に判断します。

6. 試験の日時等

(1) 試験の日時

| 【夏期】 | 出題区分 | 試験の項目及び実施日時 |
|-------|------|----------------------------------|
| 一 般 | | 小論文試験：2024年7月13日(土)10時00分～12時00分 |
| | | 面接：2024年7月13日(土)13時00分～ |
| 社 会 人 | | 面接：2024年7月13日(土)10時00分～ |

(注)志願者多数、自然災害等により、必要な場合は、7月14日(日)に試験を行うこともあります。

| 【秋期】 | 出題区分 | 試験の項目及び実施日時 |
|-------|------|-----------------------------------|
| 一 般 | | 小論文試験：2024年10月12日(土)10時00分～12時00分 |
| | | 面接：2024年10月12日(土)13時00分～ |
| 社 会 人 | | 面接：2024年10月12日(土)10時00分～ |

(注)志願者多数、自然災害等により、必要な場合は、10月13日(日)に試験を行うこともあります。

| 【冬期】 | 出題区分 | 試験の項目及び実施日時 |
|-------|------|---------------------------------|
| 一 般 | | 小論文試験：2025年2月1日(土)10時00分～12時00分 |
| | | 面接：2025年2月1日(土)13時00分～ |
| 社 会 人 | | 面接：2025年2月1日(土)10時00分～ |

(注)志願者多数、自然災害等により、必要な場合は、2月2日(日)に試験を行うこともあります。

(2) 試験の場所 香川大学経済学部(高松市幸町2番1号)

(3) 受験上の注意事項

- ① 一般選抜受験者は、試験当日の9時30分までに集合してください。
- ② 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
- ③ 試験場へ自動車での入構はできません。

7. 合格者発表

夏 期：2024年7月19日(金) 9時(予定)

秋 期：2024年10月18日(金) 9時(予定)

冬 期：2025年2月14日(金) 9時(予定)

合格者の発表は、本学のホームページ上に合格者受験番号を掲載(9時予定)するとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、電話等による合否の問い合わせには応じません。

香川大学ホームページ <https://www.kagawa-u.ac.jp/>

8. 入学手続

合格者は、入学手続書類を「簡易書留・速達郵便」とし、2025年3月15日(土)17時(必着)までに教育・学生支援部教育企画課へ送付してください。

所定の期間までに入学手続を完了しない場合には、入学辞退者として取り扱います。

また、入学手続に関しての詳細は、2025年2月下旬頃に通知します。

入学手続に必要なものは、次のとおりです。

- ① 本学所定の誓約書
- ② その他本研究科に必要な書類
- ③ 納付金

| | | | |
|-----|------|--------------|-----|
| 入学料 | | 282,000円(予定) | |
| 授業料 | 前期分 | 267,900円(予定) | 【注】 |
| | (年額) | 535,800円(予定) | |

なお、入学時及び在学中に学生納付金が改定された場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

【注】1. 前期分の授業料については、2025年4月1日から2025年5月31日までの間に納付してください。

また、希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができます。

2. 払込済の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 入学手続を行わなかった場合
- ② 入学料を誤って二重に払い込んだ場合

3. 入学手続を完了した後、何らかの事情で入学することができなくなった場合は、速やかに申し出て、入学辞退の手続を行ってください。所定の入学辞退の手続を行わない場合は、2025年4月1日付で入学したこととなり、授業料の債務(前期分)が発生しますのでご注意ください。

9. 注意事項

1. 出願資格審査について

社会人選抜試験の出願資格2. ②により出願する者(3頁参照)、あるいは、一般選抜試験の出願資格1. (9)又は(10)、社会人選抜試験の出願資格2. (9)により出願する者(3～4頁参照)は、出願資格審査を行いますので、次により申し出てください。

① 申請期間

夏期：2024年5月29日(水)～6月4日(火)まで

秋期：2024年8月28日(水)～9月3日(火)まで

冬期：2024年12月18日(水)～12月24日(火)まで

受付時間は、9時から17時までです。(ただし、土曜日、日曜日及び休日を除きます。)

郵送(「簡易書留・速達郵便」とすること)の場合は、それぞれの最終日の17時必着とします。

② 提出書類(*は必ず提出すること)

- ・出願資格審査申請書(注1)*
- ・成績証明書(厳封)*
- ・卒業(修了)証明書(在学中の者は卒業(修了)見込み証明書)*
- ・在職証明書やその他社会的経験・資格を証明する書類(注2)

注1：必ず「V. 履歴の記入にあたっての注意事項」(12頁)をよく読んでから、黒インク又はボールペン(消せるボールペン等は使用不可)を用いて、かい書で記入し、必要書類を添付してください。なお、訂正した場合は、当該箇所に印を押してください。

注2：資格等を証明する書類(コピー可)の提出がない場合、出願資格審査申請書に資格等の記載があっても、それを審査において考慮しないことがあります。

注3：証明書等で日本語又は英語以外で書かれている書類には、日本語訳又は英語訳を添付してください。

③ 審査結果

夏期は6月13日(木)、秋期は9月12日(木)、冬期は2025年1月9日(木)までに文書によって通知します。

2. 障害を有する入学志願者等との事前相談について

障害(学校教育法施行令第22条の3に定める障害の程度)のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮

を必要とする可能性がある者は、出願に先立ち、あらかじめ本学と相談してください。

相談の時期：夏期は2024年6月4日(火)、秋期は2024年9月3日(火)、冬期は2024年12月24日(火)までです。

相談の方法：申請書（様式自由、健康診断書等必要書類添付）を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

連絡先：香川大学統合事務センター教務課（地域マネジメント研究科担当）

〒760-8523 高松市幸町2-1 Tel(087)832-1826

なお、相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願前のできるだけ早い時期に、相談してください。

特に、次表に相当する障害がある者については、申し出がなかった場合、受験の際、障害等の状況に応じた対応ができなくなる場合がありますので十分注意してください。次表から判断できない場合は、お問い合わせください。

| 区 分 | 障 害 の 程 度 |
|-------|--|
| 視覚障害 | 両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの |
| 聴覚障害 | 両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの |
| 肢体不自由 | ・ 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ・ 肢体不自由の状態が上記に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの |
| 病 弱 | ・ 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ・ 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの |
| その他 | ・ 上記以外で、受験上、修学上特別の配慮を必要とするもの (例) 発達障害（ADHD、高機能自閉症等）、パニック障害、頻尿 |

3. その他

(1) 一般選抜試験の出願資格(1)又は(2)に該当する合格者(3頁参照)が、大学を卒業できなかった場合、あるいは大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与されなかった場合には、入学を許可しません。(学士の学位を授与されなかった場合には、その旨を、本研究科まで速やかに報告してください。)

(2) 出願後は、提出書類の変更は認めません。

(3) 払込済の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

① 検定料を払込んだが本学に出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合

② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

【注】上記①又は②に該当される方は、香川大学入試課(087)832-1182へご連絡ください。

(4) 香川大学では「外国為替及び外国貿易法」にもとづいて「国立大学法人香川大学安全保障輸出管理規程」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から外国人留学生の受入れに関し、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があるので注意してください。

Ⅱ. 授業時間の特例措置について

本研究科では、主として社会人の再教育のため専門職大学院設置基準第32条に基づき、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（以下「特例措置」という。）により、下記の方法による教育を実施します。

記

特例措置による教育の概要

1. 修業年限及び修了要件

学位を取得するためには、修士課程に2年以上在学し、課程修了に必要な所定の授業科目40単位以上を修得しなければなりません。

2. 履修指導及び研究指導の方法

社会人学生に対して、リフレッシュ教育、最新の専門知識の習得、課題解決のための研究等、入学目的に応じて指導教員が履修指導を行います。また、必要に応じて社会人学生の職場環境を考慮した指導を行います。

3. 授業の実施方法

社会人に配慮し、平日は特例による夜間の授業時間帯に授業を行います。また土曜日は、下記の表にある通常の時間帯を中心に授業を行います。場合によっては夜間に授業を行うこともあります。

夏季や冬季等の休業期間においては、集中講義を実施し、社会人学生の便宜を図ります。

4. 授業時間は次のとおりです。

| 区 分 | 時 限 | 授 業 時 間 |
|----------------------------------|------|---------------|
| 通常 の 授 業 時 間 帯 (本研究科では土曜日に適用) | 第1時限 | 8時50分～10時20分 |
| | 第2時限 | 10時30分～12時00分 |
| | 第3時限 | 13時00分～14時30分 |
| | 第4時限 | 14時40分～16時10分 |
| | 第5時限 | 16時20分～17時50分 |
| 特例による夜間の授業時間帯 (本研究科では平日に適用) | 第6時限 | 18時20分～19時50分 |
| | 第7時限 | 20時00分～21時30分 |

(参考)

○大学院設置基準（抜粋）

(昭和49年6月20日 文部省令第28号)

(教育方法の特例)

第14条 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

Ⅲ. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度の対象となるのは、職業を有している等の事情により、研究科の標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する者です。

この制度では、2年間で設定されている教育課程を4年間で上限として履修計画を立て、長期履修学生として在籍することが可能です。長期履修学生として認められた場合の授業料は、履修期間にかかわらず原則として2年間に支払うべき授業料総額を3年間又は4年間に分割して支払うことになります。

長期履修学生制度の適用を希望する者は、1年次の2月末に申請することができます。

問い合わせ先

香川大学統合事務センター教務課（地域マネジメント研究科担当） TEL(087)832-1826

IV. 修学助成一覧

※ 以下の情報は、2024年2月時点でのものです。申請されようとする際に制度が変更している可能性もあります。申請を希望される方は、各自で必ず【問合せ先】に確認を取るようになしてください。これら助成制度については、本研究科では責任を負いかねますので、ご了承ください。

(1) 厚生労働大臣指定教育訓練講座「専門実践教育訓練給付制度」

働く人の主体的で、中長期的なキャリア形成を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）又は一般被保険者であった方（離職者）が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った教育訓練経費の一定の割合額（上限あり）をハローワークから支給する制度です（地域マネジメント研究科は指定を受けております）。支給額は、2年間で修了（学位取得）し、修了後1年以内に雇用保険に加入していれば、教育訓練施設に支払った教育訓練経費の70%に相当する額（本研究科の場合、約90万円）となります。詳細は、ハローワークが出している「専門実践教育訓練の給付金のご案内」でご確認ください。

(2) 公益財団法人香川縣市町村振興協会修学助成

公益財団法人香川縣市町村振興協会では、各市町及び一部事務組合の人材育成を支援するため、「香川大学大学院地域マネジメント研究科」修了後、履修課程期間（2年間）に要する授業料の2分の1を上限とし、予算の範囲内の額を助成します。なお、本修学助成の対象は、香川県内市町の職員のみです。

【申請時期】 修了後。該当者は、各自ご対応ください。

【問合せ先】 公益財団法人 香川縣市町村振興協会

〒760-0066 香川県高松市福岡町二丁目3番2号 TEL:087-851-2251（代表）

(3) 公益財団法人かがわ産業支援財団「中小企業後継者育成事業」

公益財団法人かがわ産業支援財団では、中小企業の後継者育成・確保のために中小企業後継者育成事業を行っています。「香川大学大学院地域マネジメント研究科」において企業経営等を習得する者に対し、授業料の2分の1に相当する額を助成します。

【申請時期等】 入学年度の5月頃。該当者は、各自ご対応ください。

【問合せ先】 公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部ファンド事業推進課

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15 香川産業頭脳化センタービル2階

TEL:087-868-9903 FAX:087-869-3710

【ホームページ】 <https://www.kagawa-isf.jp/support/jinzai/successor/>

(4) 香川大学の授業料免除制度

本人（①経済的理由により納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。または、②入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合（これらに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合を含む。）で、授業料の納付が著しく困難であると認められる者）からの申請により、選考の上、授業料の全額又は半額の免除を許可する制度です。毎年、前期・後期毎に実施します。

【問合せ先】 香川大学 教育・学生支援部 学生生活支援課（授業料免除担当）

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 TEL:087-832-1163 FAX:087-832-1170

【ホームページ】 <https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/16198/>

(5) 日本学生支援機構の奨学金

人物・学業ともに優れ、かつ健康であって、経済的理由により修学に困難があると認定された者に対して貸与されます。第一種奨学金（無利子）と第二種奨学金（有利子）の二種類があります。大学を通しての申請になりますので、詳細については下記にお問い合わせください。

【問合せ先】 香川大学 教育・学生支援部 学生生活支援課（奨学金担当）

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 TEL:087-832-1166 FAX:087-832-1170

【ホームページ】 <https://www.kagawa-u.ac.jp/campus-life/tuition-info/scholarship/>

V. 履歴の記入にあたっての注意事項

履歴書及び出願資格審査申請書の履歴の記入にあたっては、記入例を参考にし、下記の点に注意してください。

- ・ 学歴は、高等学校入学からもれなく記入し、大学は、学部、学科名まで記入してください。ただし、外国人志願者は、小学校から記入し、入学したすべての学校について、それぞれ何年制の学校であるかを明記してください。
- ・ 外国の大学を記載するときは、取得学位の名称（学位を取得した場合）及び何年制の大学かを記載してください。
- ・ 外国人の志願者で、大学卒業後、日本語学校等に在籍している人は、学歴欄に記入してください。
- ・ 大学院を修了している人は、学位記の写しを添付してください。
- ・ 職歴（役職等含む）及び社会活動は古いものから順に記入し、当該の職にどれだけの期間就いていたか分かるように記載してください。記入欄が足りない場合は、適宜別紙に記入願います。
- ・ 資格を記載する場合、証明書の写しを添付してください。
- ・ この履歴中に、虚偽の事項を記入し、また、当然記入すべき事項を記入しなかったことを発見した場合には、入学許可を取り消すことがあります。

(記入例)

| | | | |
|---|-----------------|------------------------------|------|
| | | 一般選抜・社会人選抜 | 受験番号 |
| | | | * |
| <p>香川大学大学院地域マネジメント研究科</p> <p>履 歴 書</p> <p>(夏期・秋期・冬期)</p> <p>氏 名</p> <p>年 月 日生</p> | | | |
| 区分 | 年 月 日 | 事 項 | |
| 学 | 1990.9 ~ 1996.7 | 〇〇市立〇〇小学校 (6年制) | |
| | 1996.9 ~ 1999.7 | 〇〇市立〇〇中学校 (3年制) | |
| | 1999.9 ~ 2002.7 | 〇〇市立〇〇高等学校 (3年制) | |
| | 2002.9 ~ 2006.7 | 〇〇〇大学〇〇学部〇〇学科 (4年制, 〇〇学士) | |
| 職歴及び社会活動 | 2006.9 ~ 2010.3 | 〇〇会社〇〇 〇〇部〇〇課〇〇係 | |
| | 2010.4 ~ 現在 | 〇〇会社〇〇 〇〇部〇〇課〇〇係長 | |
| | 2010.4 ~ 現在 | 清掃ボランティア活動 | |
| | 2016.4 ~ 現在 | NPO法人〇〇〇 | |
| 特技及び資格等 | 2007.4 | 〇〇〇〇免許取得 | |
| | 2009.10 | 第〇種〇〇〇〇取得 | |
| | 2011.10 | 〇〇〇〇〇取得 | |

一般選抜・社会人選抜

受験番号

*

香川大学大学院地域マネジメント研究科入学願書
(夏期・秋期・冬期)

貴学に入学を志望しますので、所定の書類を添えて出願します。

年 月 日

香川大学長 殿

| | | | | |
|---------------------------------------|----------------|-------------|-----------------------|-----------|
| フリガナ | | 男 ・ 女 | 国籍 (外国籍の者 のみ記入) | |
| 氏名 | | | | |
| 生年月日 | 年 月 日生 | | | |
| 現住所 | 〒 | TEL | 携帯電話 () | メールアドレス @ |
| 本人への連絡 受信場所 (現住所と同じ 場合は記入不要) | 〒 | TEL | 携帯電話 () | メールアドレス @ |
| 出願資格 | 国立 公立 私立 | 大学 | 学部 | 学科 |
| | | 年 月 日 | 卒業・卒業見込 | |

- 【注】 1. *印欄は記入しないでください。
 2. 黒インク又はボールペン（消せるボールペン等は使用不可）を用いて、かい書で記入してください。なお、訂正した場合は、当該箇所に印を押してください。
 3. 一般選抜・社会人選抜の別を○で囲んでください。
 4. 夏期・秋期・冬期の別を○で囲んでください。
 5. 年号は全て西暦で記入してください。

*出願書類に記載された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報）は、入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。また、同個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）及び入学科・授業料に関する業務を行う目的をもって本学が管理します。

区分コード 4130999990

| | |
|-----------------------|---|
| 受付 金融機 関出 納印 | 1 |
|-----------------------|---|

※金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）の出納印のない場合は無効となります。

一般選抜・社会人選抜

2025年度香川大学大学院
地域マネジメント研究科
(夏期・秋期・冬期)

受験票

受験番号*

フリガナ
氏名

【注意事項】

- 試験日「夏期」…2024年7月13日(土)
「秋期」…2024年10月12日(土)
「冬期」…2025年2月1日(土)
- 本受験票を必ず持参すること。
- 試験当日は、自動車での入構はできません。

- 【注】1. *印欄は記入しないでください。
2. 一般選抜・社会人選抜の別を○で囲んでください。
3. 夏期・秋期・冬期の別を○で囲んでください。

一般選抜・社会人選抜

2025年度香川大学大学院
地域マネジメント研究科
(夏期・秋期・冬期)

写真票

受験番号*

フリガナ
氏名

写真貼付欄

出願前6か月以内に撮影した正面、上半身無帽の写真(4cm×3cm)を貼付すること。

- 【注】1. *印欄は記入しないでください。
2. 一般選抜・社会人選抜の別を○で囲んでください。
3. 夏期・秋期・冬期の別を○で囲んでください。

(切り取らないでください。)

金融機関で切り離してください。

志願者保管用(大切に保管してください。)

(受付金融機関→依頼人)

電信扱

香川大学

2025年度

検定料 領収書

| | | | |
|------------------|-------------|---------|--|
| 振込金額 (検定料) | ¥ 3 0 0 0 0 | 手数料 | |
| 振込先銀行(○で囲む。) | 預金種別 | 口座番号 | |
| ① 百十四銀行 本店 | 普通預金 | 2785280 | |
| ② 香川銀行 本店 | 普通預金 | 2155989 | |
| ③ 三菱UFJ銀行 高松中央支店 | 普通預金 | 0547300 | |
| 受取人 | 国立大学法人香川大学 | | |
| 区分コード | | | |
| 4130999990 | | | |
| フリガナ | | | |
| 志願者氏名 NAME | | | |

金融機関
太枠内は必ず記入してください。

- 金融機関(郵便局・ゆうちょ銀行を除く)の出納印のない場合は無効となります。
- 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたものは無効となります。

受付金融機関出納印

印紙

2

電信扱

香川大学
検定料 振込依頼書(入金票)

(受付金融機関保管用)

香川大学

【志願者の方へお願い】

- 郵便局・ゆうちょ銀行を除く金融機関から振り込みしてください(ATMからの振込は不可)。
- 金額を訂正したもの、鉛筆書きをしたもの、金融機関の出納印のないものは無効となります。

夏期 2024年6月5日(水)～6月28日(金)
秋期 2024年9月4日(水)～9月27日(金)
冬期 2024年12月24日(火)～2025年1月22日(水)

| | | | |
|----------------------------|----------------------------------|---------|---|
| 依頼日 | 年 月 日 | 振込受付期間 | 冬期 2024年12月24日(火)～2025年1月22日(水) |
| 振込先銀行(○で囲む。) | 預金種別 | 口座番号 | |
| ① 百十四銀行 本店 | 普通預金 | 2785280 | 金額 千 百 十 万 千 百 十 円 ¥ 3 0 0 0 0 0 手数料 |
| ② 香川銀行 本店 | 普通預金 | 2155989 | |
| ③ 三菱UFJ銀行 高松中央支店 | 普通預金 | 0547300 | |
| 受取人 | コクリツダイガクホウジンカガダイガク 国立大学法人香川大学 | | 内訳 現金 当手 他手 |
| 受付金融機関へ → この部分を必ず打電してください。 | | | |
| 区分コード | 志願者のフリガナ | | |
| 4130999990 | | | |
| 依頼人(志願者) 志願者氏名 NAME | | | |
| 志願者住所 ADDRESS | | | |
| 電話() | - | | |

手数料ご依頼人負担

← 受付金融機関へのお願
打電については、依頼人名の前に
区分コードを打電してください。

受付金融機関出納印

3

一般選抜・社会人選抜

受験番号

*

香川大学大学院地域マネジメント研究科

履 歴 書
(夏期・秋期・冬期)

氏 名

年 月 日生

| 区分 | 年 月 日 | 事 項 |
|----------|-------|-----|
| 学 歴 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 職歴及び社会活動 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 特技及び資格等 | | |
| | | |
| | | |
| | | |

- 【注】
1. *印欄は記入しないでください。
 2. 「V. 履歴の記入にあたっての注意事項」(12頁)をよく読んでから、黒インク又はボールペン(消せるボールペン等は使用不可)を用いて、かい書で記入し、必要書類を添付してください。
 3. 一般選抜・社会人選抜の別を○で囲んでください。
 4. 夏期・秋期・冬期の別を○で囲んでください。
 5. 年号は全て西暦で記入してください。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | * |
|------|---|

香川大学大学院地域マネジメント研究科（一般選抜）
志 望 理 由 書（夏期・秋期・冬期）

氏 名 _____

No. 1

| | | |
|----|--------------------|-----------------------------|
| | 1. 志 望 動 機（500字以内） | 本研究科を志望するに至った動機について述べてください。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 5 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 10 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 15 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 20 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 25 | | |

注) 1. *欄は記入しないでください。
 2. 黒インク又はボールペン（消せるボールペン等は使用不可）を用いて、かい書で記入してください。
 3. 夏期・秋期・冬期の別を○で囲んでください。

2. 将来の計画 (500字以内)

本研究科の修学を活かして、本研究科修了後の進路をどのように考えているかを述べてください。

5

10

15

20

25

| | |
|------|---|
| 受験番号 | * |
|------|---|

香川大学大学院地域マネジメント研究科（社会人選抜）
志 望 理 由 書（夏期・秋期・冬期）

氏 名 _____

No. 1

| | | |
|----|--------------------|--|
| | 1. 社会的経験（1,000字以内） | これまでの職務の経験や社会的活動の中で、重要だと思う事項（研究に関する特技，資格，表彰などを含む）や出来事などを述べてください。 |
| 5 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 10 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 15 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 20 | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

注) 1. *欄は記入しないでください。
 2. 黒インク又はボールペン（消せるボールペン等は使用不可）を用いて、かい書で記入してください。
 3. 夏期・秋期・冬期の別を○で囲んでください。

2. 志 望 動 機 (1,000字以内)

社会的経験の中で認識するようになった問題意識並びに本研究科を志望するようになった動機を述べてください。

5

10

15

20

25

30

3. 将来の計画 (1,000字以内)

本研究科で研究したいテーマ及び本研究科での研究・修学を活かした将来計画について述べなさい。

5

10

15

20

25

30

勤務先から派遣される志願者用

派 遣 書

香川大学大学院地域マネジメント研究科長 殿

貴研究科志願者 _____ を派遣します。

年 月 日

職 名

氏 名

印

香川大学大学院地域マネジメント研究科出願資格審査申請書

2025年度地域マネジメント研究科（夏期・秋期・冬期）募集要項の「一般選抜試験出願資格(9)又は(10)」、「社会人選抜試験出願資格(9)」により出願したいので、所定の書類を添えて申請しますから審査願います。

年 月 日

香川大学長 殿

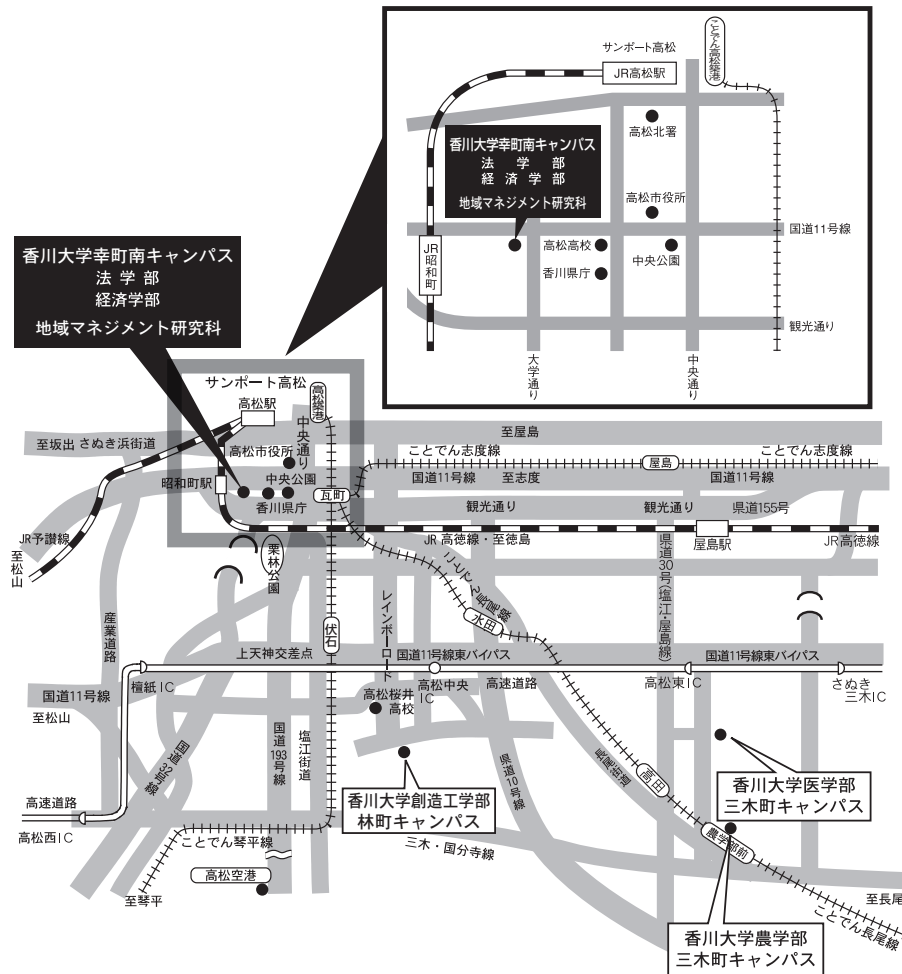
| | | | | | |
|---------------------------------|-------|-------------|---------|---|---|
| フリガナ | | 現 住 所 | 〒 | — | |
| 氏 名 | | | 電話（ | ） | — |
| 生年月日 | | | メールアドレス | | @ |
| 履 歴 | | | | | |
| | 年 月 日 | 事 項 | | | |
| 学 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 歴 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 職 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 歴 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 特 技 及 び 資 格 等 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

- 【注】 1. 「V. 履歴の記入にあたっての注意事項」（12頁）をよく読んでから、黒インク又はボールペン（消せるボールペン等は使用不可）を用いて、かい書で記入し、必要書類を添付してください。
2. 夏期・秋期・冬期の別を○で囲んでください。
3. 年号は全て西暦で記入してください。
4. 裏面に「職務内容と身につけた職務能力についての詳細」を記述してください。

【職務内容と身につけた職務能力についての詳細】

A large rectangular area with a solid border, containing numerous horizontal dashed lines for writing.

香川大学試験場案内図



地域マネジメント研究科への交通路

| | | |
|---|---|---|
| J | R | 高徳線「高松駅」———>「昭和三町駅」下車 徒歩5分(東へ250m) |
| バ | ス | J R 高松駅発(高松駅前①番のりば) ことでんバス まちなかループバス 「高松駅」———>「香川大学法学部・経済学部前」下車すぐ |
| | | 高松空港発 高松空港リムジンバス———>「中新町」又は「県庁通り・中央公園前」下車 徒歩10分~15分 (西へ750m) |
| タ | ク | J R 高松駅———>香川大学 約10分 約800円 |

(注) 電車、バス等の運行時刻については、受験者各自で確認してください。また、バス路線等については、変更になる場合もあるので注意してください。

※香川大学構内配置図 <https://www.kagawa-u.ac.jp/access/saiwai/>

入学試験等に関する照会先

香川大学入試課

TEL (087) 832-1182
〒760-8521 高松市幸町1番1号

香川大学統合事務センター教務課（地域マネジメント研究科担当）

TEL (087) 832-1826
〒760-8523 高松市幸町2番1号

香川大学ホームページ

<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

～ 不測の事態発生時等における諸連絡について ～

災害等の不測の事態が発生し、入学試験を予定どおりに実施できない場合等の対応については、上記の本学ホームページ等でお知らせしますので、ご確認ください。

また、入学試験に関する情報についても本学ホームページ等に随時掲載しますので、試験当日まで注意してご覧ください。

郵便切手を貼
付してください。
持参の場
合は不要です。

速達

7 6 0 8 5 2 3

高松市幸町二―一

香川大学

統合事務センター教務課 行

簡易書留速達

大学院地域マネジメント研究科(夏期・秋期・冬期)入学願書在中

郵便局
引受番号

| | | |
|-----|----|---|
| 差出人 | 住所 | 〒 |
| | 氏名 | |

速 達

410円分の郵便
切手を貼付して
ください。



速
達

受
験
票
在
中

殿

香川大学大学院地域マネジメント研究科・統合事務センター教務課

〒760-8523 香川県高松市幸町2番1号

T E L (087) 832-1826